

Imadoki

2019
February 02

vol.46

! WARNING

Windows7 サポート終了まで残り

3 4 7 日

2020年1月14日にWindows7の延長サポートが終了します。サポートが終了する事で、セキュリティ更新プログラムの提供や、不具合修正がマイクロソフトより受けられなくなるだけでなく、各パソコンメーカー、ソフト会社のサポートも提供されなくなります。サポート終了に早めに備え、最新のWindows10+Office365を搭載したパソコンへの更新をご検討ください。

カウントダウン開始！ Windows7 サポート終了まで後1年を切りました

新年の仕事始めを襲ったWindowsUpdateの大トラブル「Windows7+Office2010」搭載パソコンの「EXCEL2010 動作停止」問題。一部ではMicrosoftの嫌がらせ...との噂もありますが、業界としてはWindows7+Office2010」サポート期限切れのアピールには絶好の機会になったとの意見多数でした(^^)

多くのお客様の仕事始め前日となる1日6日(日)に対処方法のご案内FAXを、保守契約ユーザー様を中心にお送りさせていただきましたため、大きなトラブルにはならず終息しホッとしております。しかし、まだまだ新元号対応や消費税増税、軽減税率対応と今後もWindowsUpdateによるプログラム更新について気の抜けない状況が続きます。

PCやサーバーの買い替え、システム更新、そしてクラウドサービスを用いた生産性向上へのチャレンジと、何かとIT投資が増えそうで恐縮ですが、IT使わずに問題を解決するのが難しい時代です。古いOSやパソコンでは、最新のクラウドサービスを最大限に活用する事はできません。当社もIT導入補助金など使える手段を駆使して、お客様をご支援してまいりますので、まずは「Windows7」搭載パソコンの更新計画の策定をお願いいたします。

代表取締役社長 樋口 雅寿



Imadoki アイテム → ペーパーレス化の必須アイテム ScanSnap に新型登場

実に前機種から6年を経過して、遂にScanSnap スキャナーの新型「ix1500」が発売されました。Evernote や Dropbox と組み合わせてペーパーレスオフィスを実現するのに絶対必要なアイテムとして、当社でも5台が稼働しており「名刺」「請求書」「領収書」等々、日々のスキャンに活躍しています。前機種の時代は電子書籍(Amazon Kindle)がさほど普及しておらず、もっぱら自炊(本を裁断して自分でスキャン)用途で注目されましたが、時は流れて新機種では大型液晶を備えるなどクラウド連携を主目的に開発されています。スマートフォンの内蔵カメラとアプリも進化して1枚資料なら結構いけるのですが、複数枚ある時はやはり手元で気軽にスキャン出来る「ScanSnap」の出番となります。生産性向上すると解っているなら、デュアルモニター同様に、5万円以下の機器投資には躊躇うことなく買うべきだと当社では考えており、ダメなら最悪「メルカリ」へ...数々のチャレンジ機器がありますが「ScanSnap」は太鼓判押せる逸品としてお勧めいたします。

COMDEC からのお願い！
電気設備点検に関するお願い

2~3年程前から、電気設備点検の「ブレーカー遮断」が原因による業務停止が多発しています。業務の都合で、深夜、早朝を指定され電気設備点検されるケースもございますが、当社営業時間外については対応が難しい事も、事前の通報を改めてお願いいたします。

不用意なブレーカー切断は故障の原因!!

- サーバー...事前にシャットダウンを行わないと、最悪故障や起動せず業務に支障が出ます。
- ネットワーク機器...常時通電が原則であり、電源再起動時に故障するケースがあります。
- UPS(停電電源装置)...事前の電源OFFを行わないとブザー音が鳴り、完全放電されてしまいます。



中部電気保安協会

※ご連絡無き電気設備点検が原因の障害については、保守契約をいただいても有償対応となるケースもございます。



COMDEC からのお願い

お手数ではございますが、お客様の円滑な業務をIT面から支援させている当社の立場として、停電前に必ず当社にご連絡をお願いします。連絡無き「電気設備点検」による電源切断からの電源復旧時に正常にインターネットに接続できない、サーバーが動作しない等の問題が発生する事がございます。障害対応を行う際には訪問が必要となるケースがございますが、事前の連絡をいただいておりますと、駆け付け保守要員の手配できない場合がございます。ご協力の程宜しくお願い致します。



Imadoki セミナー → お客様 IT 活用力向上計画 第三弾 総務・人事編 その②

昨年開催した「総務・人事編 その①」では、総務人事で役に立つ無料のクラウドサービスを中心にご紹介させていただきました。

今回は、消費税増税だけでなく、地方企業にとって2019年の最大の試練となる、「年に5日以上の有給休暇の取得義務化」対策や新時代の給与計算を中心にお送りいたします。※東京の企業では有給休暇より、残業規制の方が課題だそうです。

ヤバすぎる現実を直視せよ！

有給休暇取得5日義務化について考える

クラウド給与

参加費
無料!!

お客様 IT 活用力向上計画 第三弾 総務・人事編 その②

第一回 2月22日(木) 15:00~17:00

第二回 3月19日(火) 15:00~17:00

【会場】 弊社セミナールーム

お申し込みはこちらから!
<https://www.comdec.jp/seminentry/>



IT界の2020年問題!

サポート終了 Windows7 & WindowsServer2008 & Office2010

100% Microsoft の都合ではありますが、「Windows7」のサポートが来年1月14日で終了となります。

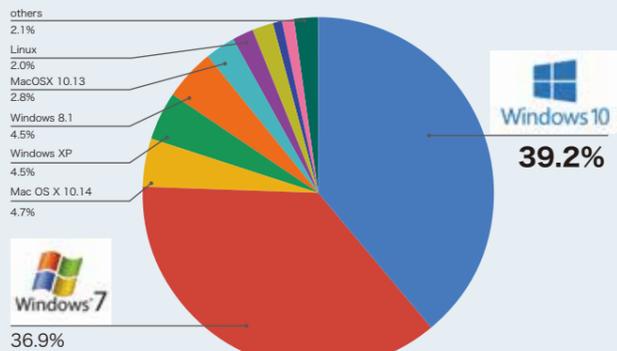
2014年4月の「WindowsXP」サポート期限切れで大騒ぎした記憶がありますが、あれから既に5年が経過しようとしています。

2009年に発売されてから約10年になるWindows7は、最初は使いにくい、WindowsUpdateが面倒との評価でしたが、改良を重ねた結果、現在では「安定・安心」して利用できるOSになりました。

しかし、「安全面」では既に、綻びが目立ち改良も限界を迎えつつあります。

ちょうどサポート終了まで後1年となる昨年12月時点では、グラフの様に世界的にも約半数以上のユーザーが既に「Windows10」へ移行しており、既にシェアは「Windows7」を逆転しています。

2015年の発売から3年、「Windows10」は大型Updateのトラブルもありましたが、意外に使いやすい、特に問題なしと評価もまずまずの「安定・安心・安全」なOSです、直前に慌てることなく1年以内の移行をご予定ください!



2018年12月デスクトップOSバージョン別シェア
円グラフ - Net Applications 報告

Microsoft の策定しているサポート期限に併せて、各ソフトウェア、ハードウェアメーカーも同時にサポートが終了予定となります。

また、今年から来年にかけて、「Windows7」だけでなく、データベースソフト「SQL Server2008」、サーバーOSである「WindowsServer2008」、そして今回トラブルがあった「Office2010」も10月にはサポートが終了しますので、ご利用のパソコンとソフトウェアをご確認ください。

補足) Windows10ではOffice2010は利用できません。自動的にOffice365かOffice2019への移行となります。

サポート期限対象製品	サポート期限
SQL Server2008	2019年7月
WindowsServer2008	2020年1月
Windows7	2020年1月
Office2010	2020年10月

パソコンだけじゃない!

当社製システムや、弥生会計 & 販売のネットワーク版も対象です!

弥生会計、販売のネットワークをお使いのお客は、2019年版に更新すると起動時に警告画面が表示される様になりました。

上図の様に、データベースソフトの「SQLServer2008」がサポート期限を迎える事が原因であり、「SQLServer2010」への更新が必要となります。

同時にご利用中のサーバー機器自体も更新タイミングとなり100万円近い費用が必要なケースもございます。

サポート期限の9月に突然使えなくなるわけではありませんが、弥生様のサポートが受けられなくなること、2020年版登場時にはインストールすら行えなくなり最新版が利用できなくなります、更新は必須として対応をご検討ください。

また、当社の開発したシステムについても、同様に「SQLServer2008」にデータを格納しているケースが多数ございます。

心苦しくはございますが、データ破損やトラブル時に弊社もMicrosoft社や開発ツールメーカーのサポートを利用できなくなり障害対応が難しくなります。

安定した業務運営のためにも、担当部署より順次更新、サポート終了のお知らせをお送りいたしますので、ご対応の程宜しくお願い致します。



あびや視察

生田専務旅日記

「テクノロジー活用の神髄ココにあり」

伊勢神宮、内宮さんのお膝元で老舗食堂を営む「あびや」をご存知でしょうか。このお店、味が良くて接客も良い事は言うまでもないのですが、スタッフの働く生産性も他のお店より群を抜いて高いのです。なぜ生産性が高いのか? その秘密を昨年12月、あびや代表取締役小田島社長へお伺いに行ってきました。

高い生産性は「店舗オペレーションに潜む勘/成り行きからの脱却」、そして「来客/注文に備える」という事と「スタッフの接客に余裕を生み出し、おもてなしの品質を上げる」という取り組みによって作り出しているという事でした。それらを実現するために「来客予測AI 的中率9割を超える精度で翌日の来客数/注文数を把握」というソリューション開発/運用にたどり着いたこの事です。

AI活用、ビックデータ解析...と先端テクノロジーが世間を賑わす近年、あびやのソリューションは課題を解決するためにとても上手に作られた、人に優しいテクノロジーだと感じました。あびやは人が主役であり、スタッフがお客様へ最高の接客を行う時間を作り出す事を目的とし生産性向上に努めている素敵なお店でした。

今後もますますお店を見える化し、アナログな業界をデータ化していく!と躍進している「あびや」さんへ伊勢神宮にお越しの際はお立ち寄りいただく事をオススメします。



これさえ知っていれば 貴方も「あびや」通

(生田専務独断と偏見あり)

1. 明日の来客数 / 注文数を把握する事ができる来客予測AI活用してます
2. 効率良い店舗オペレーションで料理が素早く提供されます
3. コメのロスが最も少ないお店 = 毎日美味しいお米が提供されます
4. この数年間で食ベログの点数が「2.00」から「3.50」へ進化!
5. 小田島社長がイケメン!!

経営者様向け情報

日本企業のIT投資とシステム更新について

採用をコストと捉える経営者と、投資であると捉える経営者に分かれるように、ITも、コストなのか投資なのか経営者によって判断が異なりますが、経済産業省の調査では日本は、残念ながら単なるコスト(費用)と認識されるケースがまだまだ多いようです。



出典: 総務省 情報通信白書 30年度版

「情報通信白書」をみても、アメリカと日本のITへの投資意識差は大きく、投資額の差も広がる一方で、日本の経営者がIT投資に消極的または興味がない事が容易に見取れます。

ITにガンガン投資しているアメリカ企業と、ITをコストと捉え削減することばかり考えてきた日本の企業の間で悲しいほどの生産性の差が広がったことに強い危機意識を持った経済産業省が、肝いりで出しているのが「IT導入補助金」となります。

当社の体験でも、「クラウドでITコスト(費用)削減できないか?」と聞かれて苦笑いするケースが結構あります。

クラウド導入の費用の対価となるものは、情報共有による生産性改善と、業務の見える化による生産性改善であり、帳簿上に安易に表れるお金(コスト)ではありません。

当社においてもコストとして目に見えにくい総務・経理へのクラウド導入は、「PDCAサイクルを実証するチャンス」となり、生産性が目に見える形で改善されていくのは経営者として興味深く、非常に面白い体験でした。

過去のシステム開発より遥かに安価に、高速に実現できるのがクラウドサービスです。早く作って、早く試して、早く改善してを継続的に繰り返す事で生産性も継続して向上していくことがチャンスにつながります。

日本の経営者の皆さんもガンガンIT(クラウド)導入して当社と一緒に生産性改善にチャレンジしていきましょう!

